



カキ抑制柵周辺の流木・ゴミの撤去について

黒瀬川河口と倉橋大^{おおじらけ}白明川河口で、災害復旧活動が本格的に始まりましたのでお知らせします。

1 概要

平成30年7月豪雨により、黒瀬川等の河口に設置されているカキ抑制柵に、上流から流れてきた流木・ゴミ及び土砂が堆積する被害を受けました(被害柵数338柵 被害額5,550万円)。

このため、呉市では広島県、水産庁及びカキ生産者等と調整を行っていましたが、このたび、生活・生業再建支援パッケージの「水産多面的機能発揮対策事業」を活用して、漁業者を支援することになりました。

2 事業内容

- ・漁業者自らが活動組織を作り、流木・ゴミ及びカキ抑制柵周辺の土砂撤去を行う。
(人力では不可能な土砂撤去などは業者委託可能)
- ・この活動に対して国から交付金が交付される(最大2,000万円/年度)。
- ・進捗状況により複数年活動することができる。
- ・土砂の撤去はカキの稚貝の生育に影響が無くなる11月以降の予定。
※大規模な浚渫は各管理者(河川、港湾)に要望している。

3 活動組織

事業の実施主体は漁協と漁業者等で構成される活動組織で、以下の4漁協の漁業者がそれぞれの地域において活動する。

- (1) 阿賀 (10月5日に交付決定を受け、10月20日から活動を開始)
- (2) 倉橋西部 (10月5日に交付決定を受け、10月20日から活動を開始)
- (3) 広 (10月5日に交付決定を受け、11月上旬から活動開始予定)
- (4) 安浦 (9月6日に交付決定を受け、9月12日から活動を開始)

4 交付金

- ・交付金は国から直接各地域の活動組織に交付される。(呉市の予算措置は不要)
- ・この事業は本来、国7割、市3割負担だが、平成30年度は災害緊急対策のため国10割。
(次年度以降の負担割合については、水産庁において検討中。)

5 呉市の役割

- ・漁業者と広島県、水産庁との調整及び書類の作成や活動の側面支援